

令和5年度における平塚市総合計画の取組状況の総括

1 概要

総合計画実施計画事業については、全体最適の視点から施策単位での行政評価を実施し、計画の着実な推進を図ることとしています。

この度、令和5年度版実施計画に掲げる193事業が終了したため、令和5年度の取組状況をまとめました。

各施策に掲げた指標のうち、37.4%の指標（全123指標中46指標）において、令和5年度の目標値を達成しました。

2 重点施策における指標の集計結果

- ・令和5年度の目標値を達成した数値目標は、全12指標中4指標（達成率：33.3%）でした。
- ・令和5年度の目標値を達成した重要業績評価指標（KPI）は、全32指標中8指標（達成率：25.0%）でした。

重点施策	数値目標				重要業績評価指標（KPI）			
	指標数	達成	未達成	達成率	指標数	達成	未達成	達成率
強みを活かした しごとづくり	5	3	2	60.0%	7	2	5	28.6%
子どもを産み育て やすい環境づくり	1	0	1	0%	9 (1)	4	4	50.0%
いくつになっても いきいきと暮らす まちづくり	2	0	2	0%	10	0	10	0%
安心・安全に 暮らせるまちづくり	4	1	3	25.0%	7	2	5	28.6%
計	12	4	8	33.3%	33 (1)	8	24	25.0%

()内の数値は、令和5年度の実績値が算出できない指標*の数であり、達成率の計算には含めません。

*個別施策 - (1)「若い世代の結婚・出産を支援する」の重要業績評価指標（KPI）のうち「6歳未満の子どもを育てている夫婦世帯における、1日当たりの夫の家事参加時間（平日）」

3 分野別施策における指標の集計結果

・令和5年度の目標値を達成した成果指標は、全79指標中34指標(達成率:43.0%)でした。

分野別施策	成果指標			
	指標数	達成	未達成	達成率
1 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	23	9	14	39.1%
2 安心して暮らせる支え合いのまちづくり	24	10	14	41.7%
3 自然と人が共生するまちづくり	15	5	10	33.3%
4 活力とにぎわいのあるまちづくり	17	10	7	58.8%
計	79	34	45	43.0%

(参考) 分野別施策における決算見込額の集計結果(令和5年度)

分野別施策	対象事業数	決算見込額(千円)
1 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	57	4,235,631
2 安心して暮らせる支え合いのまちづくり	70	11,399,586
3 自然と人が共生するまちづくり	35	1,035,209
4 活力とにぎわいのあるまちづくり	31	3,478,428
計	193	20,148,854

4 検証

(1) 総合計画実施計画全体

- ・総合計画実施計画全体では、全 123 指標中 46 指標が目標値を達成しており、達成率は 37.4%でした。新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症への移行後における地域活動・経済活動の本格的な再開を後押しするなど、社会経済環境の変化に合わせて創意工夫しながら施策を推進してきましたが、コロナ危機の影響が残る結果と考えます。

(2) 重点施策

- ・重点施策の数値目標と重要業績評価指標 (K P I) を合わせた全 44 指標中 12 指標が達成しており、達成率は 27.3%でした。
- ・重点施策 と重点施策 は、コロナ危機という平常時とは異なる環境においても、社会経済を回し続けるとともに、子どもの学びを止めないための取組を推進してきたことにより、他の重点施策と比べて高い達成率になったものと考えられます。
- ・重点施策 は、重症化リスクの高い高齢者を対象とした指標が多くなっており、市民の生命と健康を守るため、活動自粛を優先しながら取組を推進してきたことにより、低い達成率になったものと考えられます。
- ・重点施策 は、市民の生命と財産に関わる防災・減災対策、犯罪・消費者被害の防止及び交通安全対策など、コロナ危機においても止められない各種施策を着実に推進してきた結果が達成率に表れていると考えられます。

(3) 分野別施策

- ・分野別施策の成果指標全 79 指標中 34 指標が達成しており、達成率は 43.0%でした。
- ・分野別施策 1 と分野別施策 2 は、達成率が低くなっています。特に分野別施策 2 においては、新型コロナウイルス感染症による活動制限が解除された後も、重症化リスクの高い高齢者や障がい者の活動自粛が続いたことや感染防止への配慮による活動規模の縮小や再開の遅れなどが、令和 5 年度の達成率に影響したものと考えられます。
- ・分野別施策 3 は、達成率が最も低くなっています。支援の対象である市民活動団体の担い手の中心が重症化リスクの高い高齢者であることや参加型イベントの規模縮小などが、令和 5 年度の達成率に影響したものと考えられます。
- ・分野別施策 4 は、達成率が最も高くなっています。新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、社会経済を回し続けるため、様々な支援策を展開した効果が達成率に表れていると考えられます。

5 今後の対応

- ・令和 5 年度を終期とする「平塚市総合計画～ひらつか N e X T ～改訂基本計画」において、様々な施策を推進し、社会経済活動を回し続けるとともに、ポストコロナ社会を見据えてデジタル化の取組を加速させた結果、9 年連続の転入超過に加え、令和 4 年度に実施した市民意識調査では住み続けたいという前向きな回答が約 9 割となるなど、一定の効果があつたものと考えられます。
- ・令和 6 年度を始期とする「平塚市総合計画～ひらつか V I S I O N ～」においても、引き続きこの流れが続くよう、時代の流れ、ニーズに即して、持続可能なまちづくりを進めるとともに、人口減少社会における対応を本格的に進めていきます。